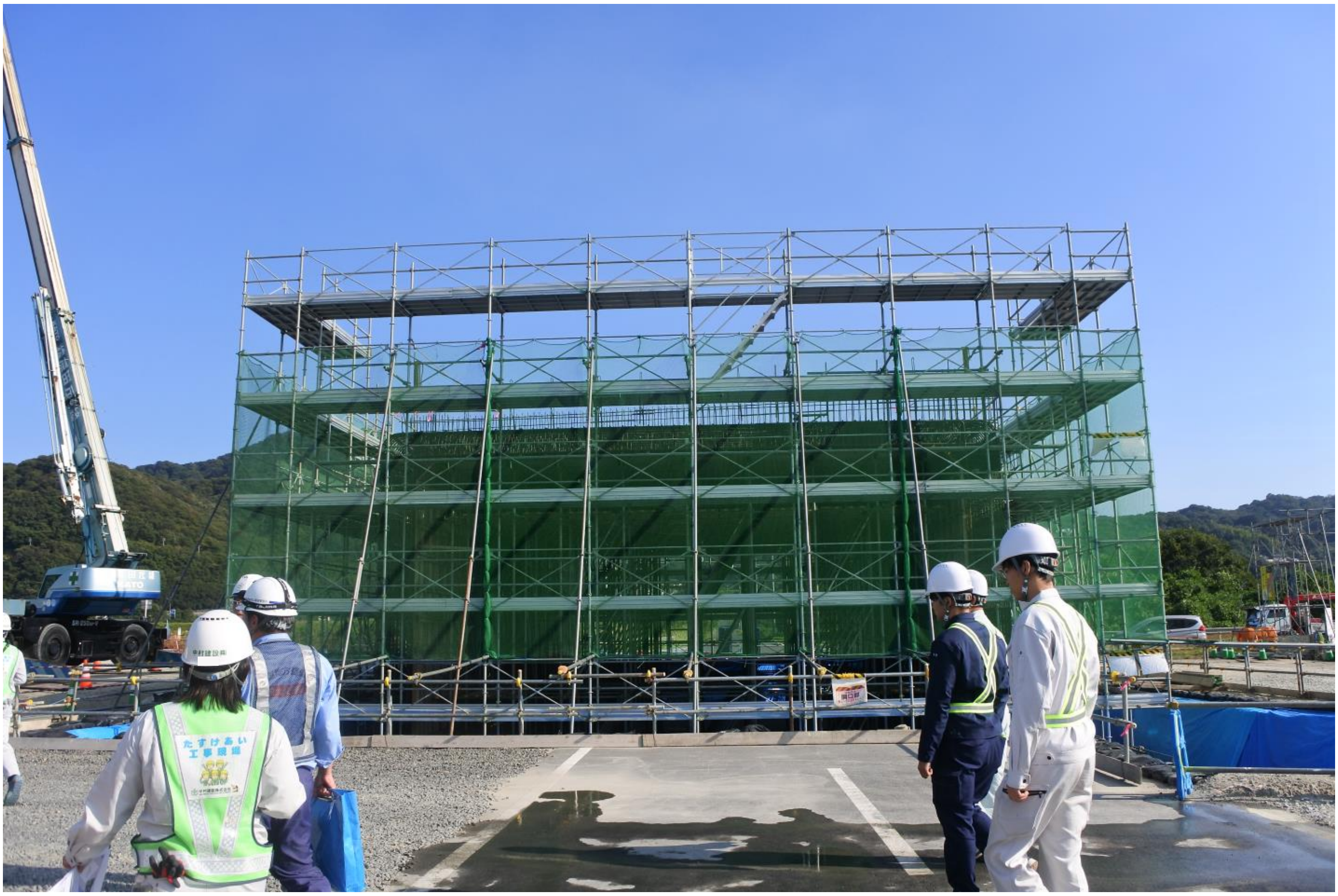
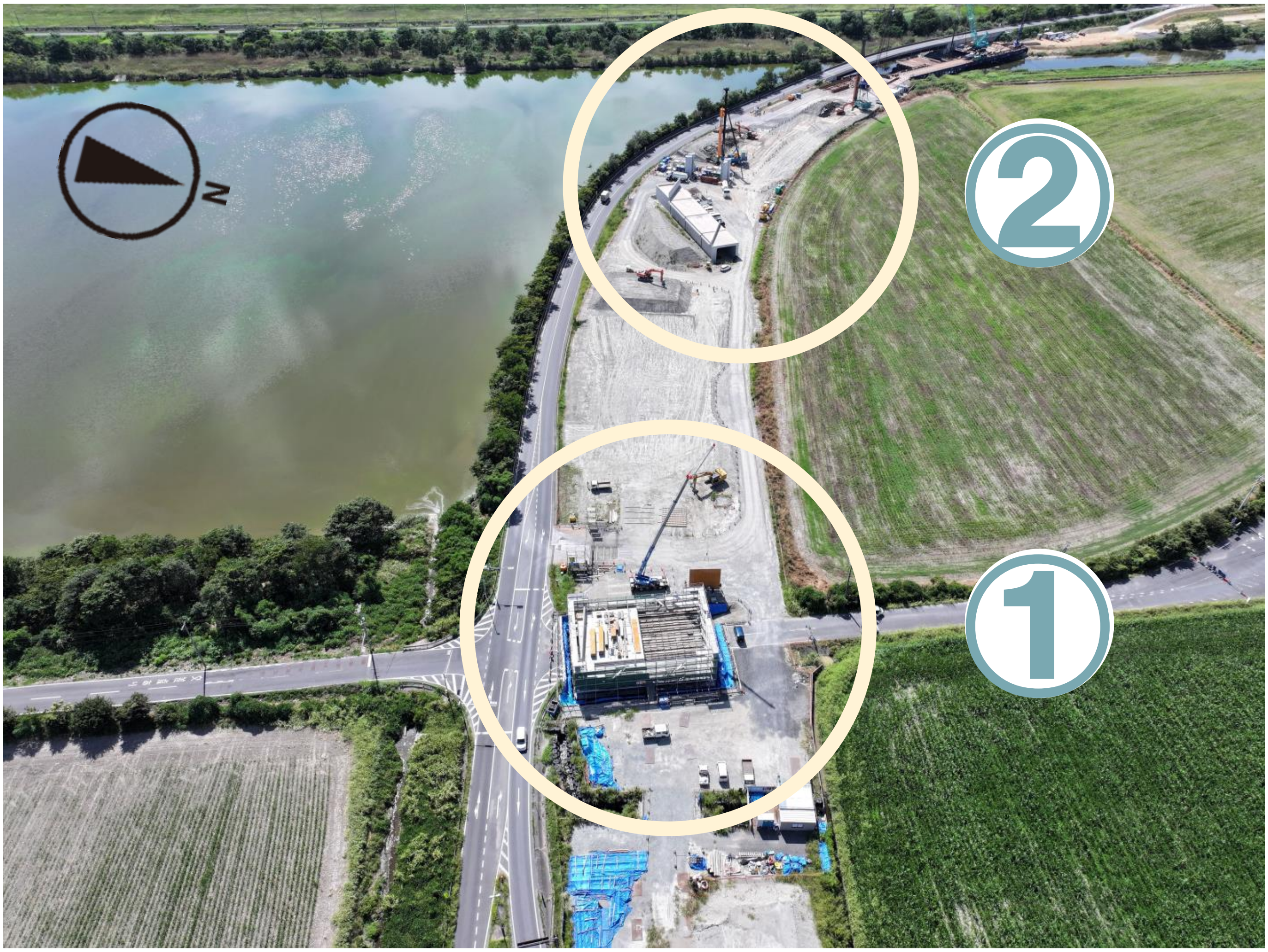
岡山大学生を対象とした現場見学会を開催しました！

令和６年１１月７日



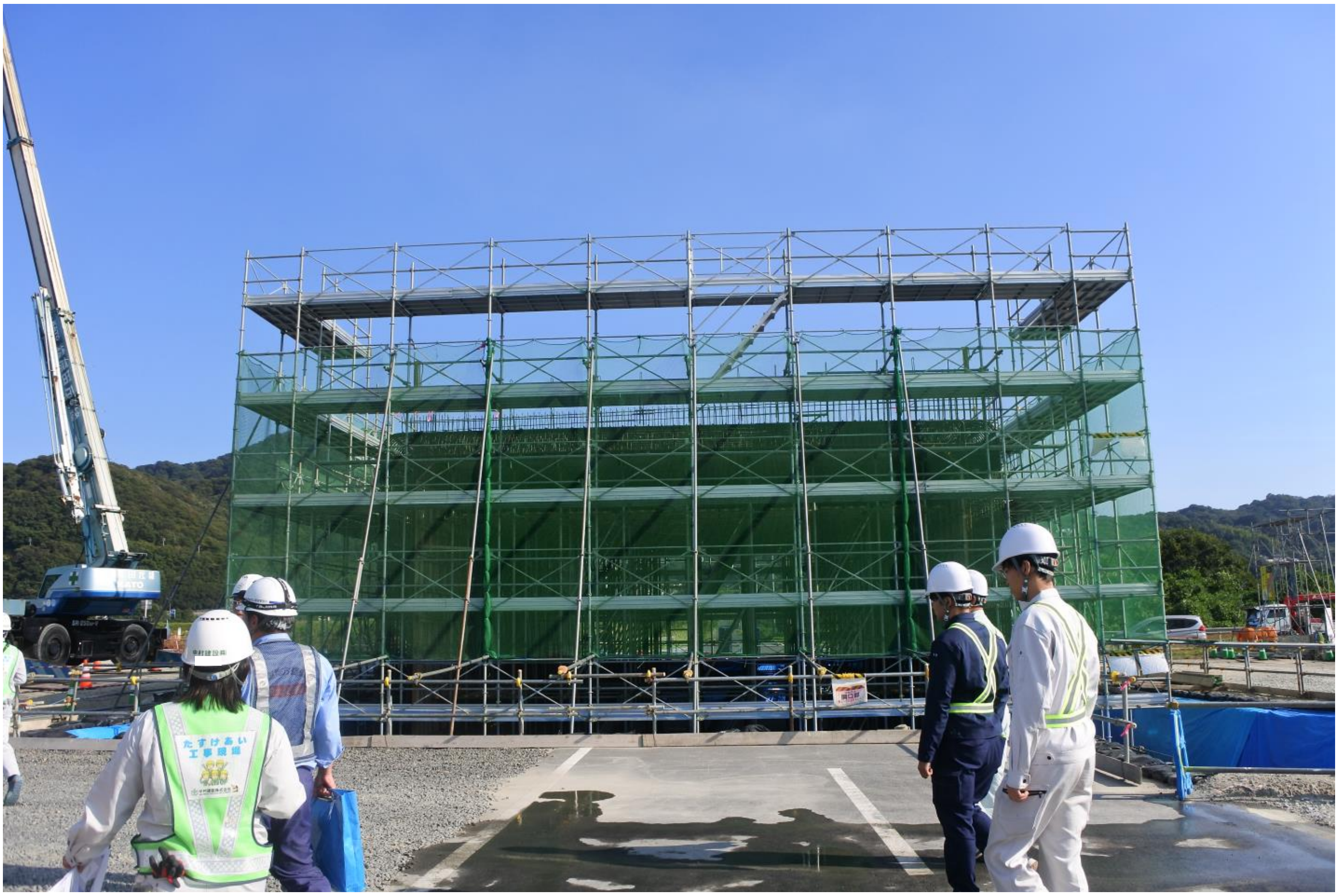
　１０月１日（火）に、岡山大学生を対象として、笠岡バイパスの現場見学会を開催しましたので、その様子をお伝えします。

①　令和５年度笠岡バイパス寺間地区第６改良工事
②　令和５年度笠岡バイパスカブト南地区第２１改良工事



①の現場では地盤改良工事とカルバート工事が行われています。
②の現場では、地盤改良工事が行われています。

まずは現場事務所で、当事務所職員から笠岡バイパス事業の説明を、次に中村建設株式会社の担当者から工事の内容について説明を行いました。

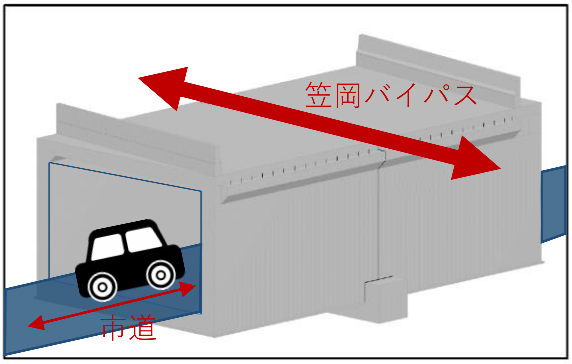


次に現場へ移動しました。

はじめに①の「令和５年度笠岡バイパス寺間地区第６改良工事」の現場を見学です。

こちらの工事では地盤改良工事とカルバート工事が行われています。

函渠工イメージ図



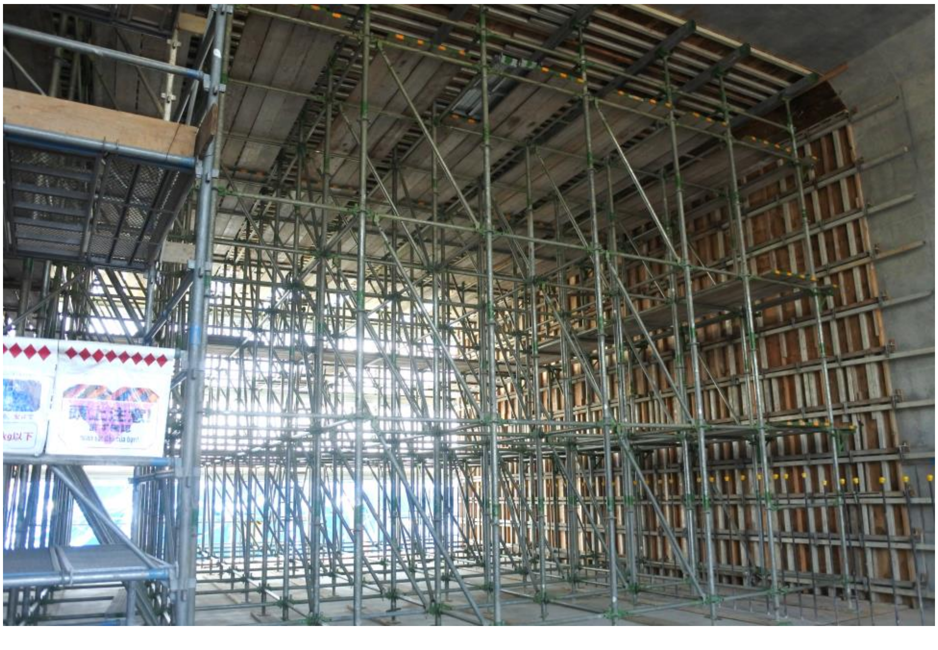
笠岡バイパスと市道とが交わる場所に、カルバートというコンクリートで出来た構造物を作っています。この中を市道が通り、その上に笠岡バイパスの道路が出来ます。

コンクリートを打つ前の鉄筋を組んでいる様子を見学しています。
鉄筋はよく見ると針金でズレないように固定されていますね。

奥に見えるオレンジの板が、固まる前のコンクリートを留めるための型枠です。見えている鉄筋の前側にも型枠を設置してコンクリートで壁を作ります。

見学しているのはボックスの外側です。

つづいてボックスの内側を見学しました。
奥に見えるのが先ほど外側を見学した部分です。



型枠を設置するためにたくさんの単管パイプが組まれていますね。

　これから現地盤の高さまで土で埋め戻します。写真の黄色い線を引いた高さに道路ができます。

黄色い四角で囲った部分は、水路を作っています。

ARを用いて現地の構造物にどれだけ鉄筋が入っているかや、地盤改良で設置された杭がどの様に入っているかも確認しました。

ボックスの上部の見学も行いました。こちらも型枠・鉄筋の設置が行われています。

こちらの鉄筋もよく見ると針金で固定されています。
上から下を覗くと結構な高さがあることが分かります。

次に② の「令和５年度笠岡バイパスカブト南地区第２１改良工事」の現場を見学するために少し歩いて移動しました。

　こちらでは地盤改良工事が行われています。地盤改良を行う大型重機は特殊な機械なので全国各地を回っているそうです。この現場の前は東北地方で使用されていました。

　この現場でもARを使用して、地盤改良で杭がどのように設置されるか確認しました。

現場にある作業小屋を見学しました。

小屋の中では、作業員の方が地盤改良工事で設置している杭の位置やセメントの量などが表示されているモニターにより、所定の品質が確保されているか確認していました。

今回見学された学生はコンクリートを専攻しているということで施工内容や工法に興味を持たれ、活発に質問されていました。

夕日の影で重機が少しキリンの首の様に見えました。

記事作成：計画課　A